

2019年4月15日

圧縮空気泡消火システム【18 Unit CAFS】導入について

～さらなる安全運航を目指し、国内フェリーで初の実装備～

商船三井フェリー株式会社（本社：東京 社長：大江 明生）は大洗-苫小牧間で運航するフェリー4隻に、国内フェリーで初めて消防用の可搬式CAFSユニット【18 Unit CAFS（以下、CAFS）（株）モリタテクノス製】の実装備を開始いたしました。

【CAFS（Compressed Air Foam System）】とは水に少量の薬剤を加え、そこへ圧縮空気を送り込むことにより発泡させる装置で、水の表面積を広げることで効率よく消火することができます。コンプレッサーを使用し空気を圧入し放射することで、少量の水で高い消火性能を有するシステムです。

また、オールインワンノズル「エコファイター」を同時に装備し、車輦間の狭小部／高所等への狙い撃ち放射が可能となりました（※当社では2tトラックの上に架装）。

既に導入している消火設備（含：機動消防用具）と【CAFS】を活用することで、船室火災、船倉内車輦火災、機関室火災の消火対応に万全を期します。

※【CAFS】の詳細については、株式会社モリタテクノスのホームページをご覧ください。

https://www.morita-technos.com/other/cafs/unitsmart_outline.html

当社は、今後もお客様に安心してご乗船頂けるサービスの提供と安定的な貨物輸送を目指すとともに、船内火災への安全対策に積極的に取り組んでいきます。



CAFS 実装車



噴射時（「エコファイター」使用）

以上

=本件に関する問合せ先=
 商船三井フェリー株式会社
 船舶部 TEL：03-6774-6884
 FAX：03-6774-6904